

美作国創生公募提案事業 事業成果報告書

- 1 事業名： 自閉症療育セミナー及び治療教育相談会
- 2 実施団体： 特定非営利活動法人岡山県自閉症協会・県北親の会ネット
- 3 協働担当課： 美作保健所保健課

4 事業概要

美作圏域の自閉症・発達障害に対する理解や支援の機運を高めるため、主に自閉症児者の保護者や支援者等を対象としたセミナーを開催する。また、専門家により個別相談会を実施し、家庭や職場等で抱えている問題に対する解決方法について助言を行なう。

5 実施内容

<自閉症療育セミナー>

日時： 平成28年11月23日(水・祝) 10:00～12:00
会場： グリーンヒルズ津山リージョンセンター ペンタホール
テーマ： 「自閉症スペクトラムの子どもたち ～学齢期の支援～」
講師： 笹野京子氏(なのはなクリニック院長)
参加費： 無料

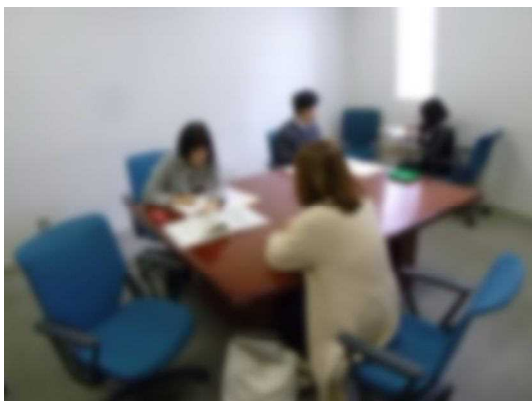
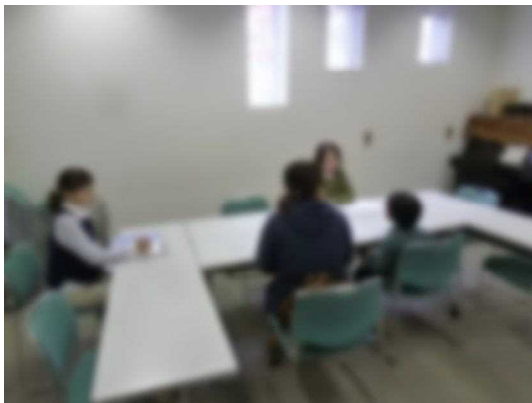
<治療教育相談会>

日時： 同日 13:15～16:00
会場： 同会場 研修室他
対象： 美作圏域に在住または勤務の方
相談時間： 1件につき45分
相談員： 笹野京子氏(なのはなクリニック)、福田敏隆氏(倉敷児童相談所)、
清水久仁子氏(なのはなクリニック)、土岐淑子氏(岡山県精神科医療センター)、おかやま発達障害者支援センタースタッフ
相談料：無料

<自閉症療育セミナー>



<治療教育相談会>



6 事業実施による成果、効果、今後の課題

(1) 成果、効果

○午前中のセミナーには、事前に津山市を中心に広く美作圏域より 217 名もの参加申込みがあり(別紙 1)、この地域の自閉症・発達障害に対する関心の高さが伺えた。当日はキャンセル者があったものの当日参加者も 8 名あり、最終的に 217 名と大変多くの方々に参加いただいた。

会場内で実施した事後アンケート(別紙 2)でも、ほとんどの参加者が講演内容に「満足」、「やや満足」だったことから、参加者の自閉症・発達障害に対する理解がより深まったものと思われる。ご意見・ご感想の中に県北地域での開催を喜んで下さる声が数多くあり、さらにはこういったセミナーへ初めて参加されたというコメントもいくつか見受けられ、美作圏域での開催に一定の成果が得られたものと思われる。また、保護者だけでなく多くの福祉関係者や教育関係者等の支援者が一堂に会し、自閉症・発達障害児者を取り巻く様々な問題を共有できたことで、地域内の支援の機運がより一層高まったものと思われる。

○午後の治療教育相談会には、定員の 15 名を超える事前申し込みがあり、受付を断らなければならなかったのは残念だった。申込みが定員に満たないことが例年みられたが今回の状況から、この地域内で問題を抱えながら生活を送っている自閉症児者の家族が潜在的に多くいることが示唆されたように思われる。

当日は、急な発熱で同伴できなかった本人が 1 名いたが、15 名全員の相談を予定通り実施できた。例年、事前あるいは当日になってのキャンセルが数名出ることが多かったが、今回はそのようなこともなかったことから、申込み者の熱心さや切実さが感じられた。この相談会を機に日頃より抱えている問題が少しでもよい方向に向かうことが期待される。

○今回のセミナー開催後、参加者から本会への入会に関する問い合わせがあり、いずれも津山市在住で保育園に在籍している 4 歳のお子さんの保護者の方が 2 名(2 家族)新たに入会された。例年この時期に入会される方はほとんどなく、今回のセミナー参加を通じて本会の活動をより身近に感じていただけたことが入会に繋がったものと思われる。早速、岡山市での勉強会と津山市での調理の会に参加していただいた。また、3 月 5 日の本会主催のセミナーには、岡山市での開催にもかかわらず例年にも増して美作圏域から多くの方々に参加いただいたが、これも本事業を実施した効果と思われた。このように本会としても、事務局から遠く離れた津山市でのセミナーならびに相談会の開催に一定の成果が得られた。

(2) 今後の課題

美作圏域の自閉症・発達障害に対する理解や支援の機運を一時的なものに終わらせることなく持続的に高めるためにはどうすればよいか、今後の課題と思われる。

7 県民局と協働した効果及び課題

○美作保健所保健課からの事前説明の後に、本会からの正式な後援依頼やチラシ配布を行うやり方で進めたが、各自治体・協議会からの協力が得られやすく、各市町村内ならびに地域内にきめ細かくチラシ配布ならびに広報ができたのではないかとと思われる。協働したお陰で、大変多くの方々にセミナーならびに治療教育相談会にご参加いただけた。

○同一事業の採択は2回までとなっており、美作県民局からの補助がない場合でも、継続的に理解や支援の機運を高めるためにはどうすればよいのか、今後の課題と思われる。

(別紙1)

第42回岡山県自閉症協会セミナー・治療教育相談会申込み状況(最終人数)

(+:当日参加者)

セミナー	本人	保護者	福祉	教育	医療	会員	その他	計
津山市	1	47+2	29	17+1	7		4	105+3
美作市		17+1	4	3			1	25+1
鏡野町		6+1	3	2+1			2	13+2
勝央町		9	7	1	1			18
奈義町		2						2
西粟倉村								
久米南町			7	1				8
美咲町		4	2	2				8
真庭市		2		2+1	2			6+1
新庄村								
その他	1	17	5+1	3	3	2	1	32+1
計	2	104+4	57+1	31+3	13	2	8	217+8

	相談会	託児
津山市	7	12
美作市	3	3
鏡野町	1	4
勝央町	3	1
奈義町		
西粟倉村		
久米南町		
美咲町		
その他	1	
計	15	20

4. ご意見やご感想（代表的なものを抜粋）

○こういうセミナーは初めてでしたので、大変勉強になりました。子どもへの対応を具体的に示してくれていたのもよかったです。（保護者）

○もっと学校関係の方に聞いていただきたい内容でした。親にとってもとても参考になった内容でした。県北でももっとこういう内容の講演会があれば嬉しいです。（保護者）

○県北でも療育を充実させて欲しい。（保護者）

○今、子どもが3才なのでこの先の不安が漠然とありますが、少しずつ受け入れている感じです。小学校、中学校へと進んで、もし困ったことがあれば、今日のお話を少しでも思い出して役に立つだろうと思います。相談する先もいろいろあることが分かりました。（保護者）

○もうすぐ4才になる自閉症、知的障害のある子がいます。セミナーは初めての参加で、主人と一緒に来ました。家に帰って試してみたい事もいっぱい、今を大切にたくさんの支援をしてやりたいと思いました。（保護者）

○自閉症児の親として長い間悩み続け、最後には「悩んでも仕方ない」と思ってしまうようなことにとっても具体的に答えていただいたような気持ちになれました。今、不登校になり悩んでいます、先生のお話で伺ったことを心がけて、親子で乗り越えていこうと思えました。（保護者）

○私は母子家庭です。祖父母には理解が難しいようです。もっともっと相談できる場所、時間を増やしていただきたいと思います。仕事が夜7時に終わり、学童に迎えに行き帰ると8時過ぎ、仕事の休みは土日しかなく、相談できる日があまりありません。親としての関わり方をもっともっと私に教えて欲しいです。（保護者）

○またぜひこのような機会を設けて下さい。多くの方が自閉症に関わり、関心を持っていることに勇気をもらいました。（保護者）

○なかなか相談をどこでしたらいいのかもわからないので、今回のセミナーで色々聞いて参考になりました。（家族）

○笹野先生の優しい語り口でわかりやすく、理解することができました。私は初めての講演会でしたが、孫の成長のために娘を見守り、少しでもアドバイスすることができそうです。どう関わっていくかのヒントになりありがたかったです。（家族）

○繰り返しこのような機会を作っていただきたいです。今日の話聞いていても、繰り返すことでより身になると思います。もちろん、今日来ていない人にも新たに勉強の場になると思います。（福祉関係者）

○明日からの指導にとっても役に立つ具体的な話が多く、ありがたかったです。もっともっと多くの方がこのような話を聞く機会があるといいなと思います。（教育関係者）

○自閉症スペクトラム症の生徒への対応について、詳しく学習することができてよかったです。具体的で自分の心にストンと落ちました。県北にもまた来ていただきたいです。（教育関係者）

○教育関係者の参加が 15%と聞いて驚きました。小中学校の先生方にもっともっと参加し、学んでいただきたいと強く思いました。(教育関係者)

○知らない事ばかりでびっくりする事が多く、子ども達はとても困っているんだ、とても苦しいんだと本当によく理解できました。(教育関係者)

○県北に転居してからこういった講演会がなかなかないので、参加できて有意義だった。また県北でも定期的
に開催して欲しい。(行政関係者)